

2023年9月22日

公益財団法人イオン環境財団

フューチャーアース対話プロジェクトを実施

-地球の未来につながるお買いもの、わたしたちにできること-

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也 イオン株式会社 取締役代表執行役会長以下当財団）は、SDGsゴール12「つくる責任 つかう責任」に焦点をあて、地域のみなさまと一緒に、地球の未来につながるお買いもの、わたしたちにできること、について考える環境フォーラムを開催いたします。

持続可能な開発目標SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された、17のゴール・169のターゲットから構成される、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

当財団は、2017年から、フューチャーアースと「イオン未来の地球フォーラム」など環境課題に取り組んでまいりました。2022年7月には、早稲田大学の小野記念講堂にて、「国立環境研究所」と「Future Earth日本ハブ」と共同で、SDGsゴール12「つくる責任 つかう責任」の日本版ターゲットを描いてみると題し、専門家と一般参加者のみなさまによるディスカッションを行い、その提言を日本政府へ報告いたしました。

2回目となる今回の対話プロジェクトは、お買いものを通じて私たちができることをより多くの方と一緒に考えていきたいと思っております。

当財団は、ひとつしかない地球を守るため、今後も様々な環境活動に積極的に取り組んで参ります。

日 時： 2023年9月24日(日)11:00～15:00

場 所： イオン時津ショッピングセンター 1Fセントラルコート

プログラム： <第一部>11:00～12:30

サステナブルショッピングQ&A

<第二部>14:00～15:00

ガレッジセールと考えるサステナブルショッピング

(第二部は下記YouTubeチャンネルでもご覧いただけます)

<https://www.youtube.com/user/yoshimotokogyo/videos?app=desktop>

共同主催： Future Earth日本ハブ・国立環境研究所・長崎大学

イオン九州株式会社・公益財団法人イオン環境財団

協 力： 慶應義塾大学・Global Compact Network Japan

一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク・一般社団法人SWITCH

【ご参考】

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに、万里の長城での植樹をはじめとする「植樹」「環境活動助成」「環境教育」「パートナーシップ」の4つの事業を中心に活動に取り組んでいます。現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

【植樹活動】

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、中国万里の長城などアジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。1991年からのイオン全体の植樹の累計本数は、1,255万本をこえています。今年度、当財団は、北海道南富良野町、宮城県石巻市・亶理町、千葉県君津市・、埼玉県狭山市、島根県松江市、海外ではインドネシアジャカルタ、マレーシアビドー等で植樹を行います。

【これまでのイオン環境財団とフューチャーアースとの主な取り組み】

■イオン未来の地球フォーラム

イオン未来の地球フォーラムは、地球環境の変化やそれに伴って生じる問題の解決方法、実行策を考えるためのシンポジウムです。第1回は東京大学武田ホール、第2回～第4回は東京大学安田講堂、第5回はオンラインにて開催いたしました。参加者の皆さまとともに、現在発生している環境課題について共有し議論をしてまいりました。5年間で、のべ40名のスピーカーが登壇し、約3,800名の皆さまが参加しました。

- 第1回 2017年2月25日 「地球と人の健康」
- 第2回 2018年1月20日 「持続可能な消費と生産」
- 第3回 2019年2月2日 「自然の恵み」
- 第4回 2020年2月1日 「海の環境と資源を守る」
- 第5回 2021年2月6日 「ポストコロナの持続可能な未来」



第4回（安田講堂）



第5回（オンライン）